

平成21年度 事務事業評価シート（平成20年度実績分）

事務事業名	マッピングシステムの導入		部課コード	2407	予算事業科目		事	単	区分	継続
所管部署	担当部局	水道局	部局長名(2次評価者)	木藤 善治		個別事務	0	-		
	担当部署	企画課	所属長名(1次評価者)	岡田 稔						
	電話番号	088-821-3235	E-mail	kc-240700@city.kochi.lg.jp						

1 事業の位置付け

予算科目(平成20年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け				
会計	水道事業会計	目標	環境と共生する安全で快適な都市		政策基本方針 すべての市民が安全で、安心して暮らせる快適な生活環境づくりを推進します。
款	1 水道事業費用	政策	快適で安全な生活環境づくり		
項	1 営業費用	施策	安全でおいしい水の安定供給		
目	2 配水費	区分	効率的な水運用システムの構築		

2 事業の根拠

法律・政令・省令	水道法第2条の2第1項	法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等		
その他(計画、覚書等)	高知市水道事業基本計画2007(基本施策:1-9効率的な水運用管理システムの構築)	

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	お客さま		
意図	どのような状態にしていくのか	断水対策・災害対策や管網解析等において、合理的・総合的な水運用・管理を行うとともに、埋設管路や給水装置の情報を全課で共有することにより、日常業務はもとより緊急時においても、より迅速・的確な対応を可能とするもの。		
手段	事業実施体制等	企画課、給水課及び配水課職員によるシステム構築プロジェクト体制を設置	事業開始年度	平成20年度
			事業終了年度	平成23年度
活動内容	どのような事業活動を行うのか	水道用WebGIS、ファイリングシステム、CAD設計積算システム及び管網総合評価システムの構築 背景データ、管路データ及び給水データの整備、紙台帳等のスキャン処理によるデータ整備		
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方	
	A	業務システムの構築	複数の業務システムを統合したマッピングシステムの稼働をもって導入事業を終了するもの。	
	B	基礎データの整備	局の保有する情報を各業務システムで使用可能なデータとして整備するもの。	
	C			

4 事業の実績等

			18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(計画)	備考欄
成果指標	A	業務システムの構築	目標		管網総合評価システム		基礎データは、スキャンの総件数
		実績			管網総合評価システム		
	B	基礎データの整備	目標		244,030		
			実績		333,013		
C		目標					
		実績					
投入コスト	① 事業費	財源内訳	決算額 (千円)			29,925	
			国費 (千円)				
			県費 (千円)				
			市債 (千円)				
			その他 (千円)				
			一般財源 (千円)	0	0	29,925	
	翌年度への繰越額 (千円)						
	② 概算人件費等	人件費等	人件費等 (千円)	0	0	24,500	プロジェクト全体会議5回 業務システム担当者会議17回 仕様検討、台帳整理発送作業等 臨時職員2人×6月
			正規職員 (千円)			22,500	
			その他 (千円)			2,000	
			人役数 (人)			4.00	
			正規職員 (人)			3.00	
			その他 (人)			1.00	
	総コスト=①+② (千円)			0	0	54,425	
市民1人当たりコスト (円)			0	0	160	総コスト/年度末人口	
年度末住民基本台帳人数 (人)			327,310	341,544	340,695		

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

マッピングシステム稼働後の運用管理体制が未定である。

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 21 年 9 月 1 日）

評価項目		評価基準	1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく	A	5.0	本事業は、高知市水道事業基本計画2007の基本目標に示されている重点施策（効率的な水運用管理システムの構築）に位置づけられている。災害対策や事故時における断水地域や濁水範囲の迅速な予想などへの市民ニーズも高まっている。
		B (3) 一部結びつく			
		C (1) あまり結びつかない			
		D (0) 結びつかない			
② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している	A			
	B (3) 横ばいである				
	C (1) 少ない、減少している				
	D (0) ほとんどない				
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している	A	5.0	平成20年度に契約した「水道施設情報管理システム等構築業務に関する業務委託」の工程にそって順調に進んでいる。
		B (3) 概ね達成している			
		C (1) あまり順調ではない			
		D (0) 十分な成果を望めない			
④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である	A			
	B (3) 概ね妥当である				
	C (1) 検討の余地がある				
	D (0) 見直しが必要である				
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない	A	5.0	マッピング基図に高知市WebGISの基図を利用するなどコスト削減を図りながら、平成20年度に「水道施設情報管理システム等構築業務に関する業務委託」をおこない民間活力を利用しつつ効率的に実施している。
		B (3) 行政主体が望ましい			
		C (1) 検討の余地はある			
		D (0) 十分可能である			
⑥ [事業統合・連携・コスト削減の可能性] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない	A			
	B (3) 概ね効率的にできている				
	C (1) 検討の余地がある				
	D (0) 十分可能である				
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い	A	5.0	事業成果は、高知市内の断水対策・災害対策や管網解析等において合理的・総合的な水運用・管理を行うものであり、極めて公平性は高い。
		B (3) 概ね保たれている			
		C (1) 偏っている			
		D (0) 公平性を欠いている			
⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である	A			
	B (3) 概ね適正な負担割合である				
	C (1) 検討の余地がある				
	D (0) 検討すべきである				
総合点	20.0	総合評価	○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)		
			D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 21 年 9 月 11 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	1次評価のとおり
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項